

# =市史編さん便り= 【8号】 令和5年5月30日(火)発行.

\*\*\*\*\*土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

## 本年度「第1回市史編さん・編集合同委員会」を実施！

昨日5月29日午後より中央公民館2階・会議室にて標記の会を開催した。会議は編さん委員会副委員長である岡崎哲也教育長が編さん委員長職務代理者として司会を担当し、会議を進行した。

会議には、編さん委員・磯脇堂三副市長、編集委員・東近伸副委員長、武藤清委員、浜岡篤委員、出原恵三委員、岩井拓史委員、森口夏季委員、事務局として西原貴樹生涯学習課長、津野綾子市史編さん係長、吉本工心市史編さん係職員、田村公利市史編さん室長（市史編集委員長兼任）、委託業者・株式会社ぎょうせい四国支社職員2名の14名が出席した。

### 【会議の内容をpick up!】

(1) 今後の執筆などの流れ

〈通史編〉第1・2・3・4・5・6・10・13・14・15章 ⇒7月中に校了

第7・8・9・11・12章 ⇒8月中に校了

※併行して『新市史』に掲載する図版・写真などの許可手続き⇒9月中に完了

〈資料編〉「第1章中世・近世・近代文書」「第2章中世・近世石造物」

「第3章学校資料から見る地域の教育・社会・災害・戦争」

⇒8月中にゲラ前原稿を提出⇒9～10月校正⇒11月初旬校了

「第4章市域中世山城上空写真」「第6章郷土料理」

⇒7月中にゲラ前原稿を提出⇒8～9月校正⇒10月初旬校了

〈序文ほか〉序文2頁(泥谷市長)、発刊に当たって(1頁岡崎教育長・1頁宅間監修)、あとがき2頁(田村編集委員長)

⇒9月中にゲラ前原稿提出⇒10月中に校正⇒11月初旬校了

(2) 「資料編」を執筆依頼している「執筆協力員」一覧

- 執筆協力員 濱田 眞尚 南国史談会会長 元高知県立歴史民俗資料館副館長 石造物(あしずり遍路道関係)
- 執筆協力員 新野 大 高知県立海洋館SATOUMI館長 郷土料理
- 執筆協力員 山下 晃弘 土佐清水市郷土史同好会顧問 元土佐清水市文化財保護審議会会長 地検帳
- 執筆協力員 海邊 博史 堺市博物館主幹(学芸員) 中世～中世石造物
- 執筆協力員 三好 義三 大阪府阪南市役所職員 中世～近世石造物
- 執筆協力員 森山由香里 兵庫県芦屋市教育委員会生涯学習課学芸員 中世～近世石造物
- 執筆協力員 黒川 信義 伊方町文化財保護審議会会長 中世～近世石造物
- 執筆協力員 先山 徹 NPO法人地球年代学ネットワーク・地球史研究所ジオネットワークマネージャー  
兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科客員教授 中世～近世石造物
- 執筆協力員 佐藤 亜聖 滋賀県立大学人間文化学部教授 中世～近世石造物
- 執筆協力員 谷川 亘 国立研究開発法人海洋開発機構主任研究員 中世～近世石造物
- 執筆協力員 木谷 智史 大阪府太子町教育委員会生涯学習課副主査 中世～近世石造物
- 執筆協力員 吉成 承三 高知県立埋蔵文化財センター調査課長 中世山城上空写真
- 執筆協力員 目良 裕昭 高知県の学校資料を考える会代表 学校資料
- 執筆協力員 楠瀬 慶太 高知新聞記者 学校資料
- 執筆協力員 高木 翔太 高知県立高知城歴史博物館学芸員 学校資料
- 執筆協力員 水松 啓太 高知県立高知城歴史博物館学芸員 学校資料

(3) 目次(案)の提示

<b>目次(案)</b>		
序文	土佐清水市長(土佐清水市史編さん委員長)	泥谷 光信
発刊にあたって	土佐清水市教育委員会教育長(土佐清水市史編さん副委員長)	岡崎 哲也
	土佐清水市史編さん委員(監修)	宅間 一之
例言	土佐清水市史編集委員会	
通史編		
<b>第一章 考古</b>		
第一節	土佐清水市の先史遺跡概要	出原 恵三(全章)
第二節	旧石器時代の土佐清水	1
第三節	縄文時代の土佐清水	
第四節	弥生時代の土佐清水	
<b>第二章 古代</b>		
第一節	古墳時代の幡多地域	東近 伸(全章)
第二節	波多のクニと都佐のクニ	
第三節	鯨野郷と伊豆田神社	
第四節	律令制の崩壊と地方政治	
第五節	金剛福寺の創建と観音信仰	
<b>第三章 中世</b>		
第一節	知行国制と幡多荘の成立	東近 伸
第二節	金剛福寺の勧進活動と一條氏	東近 伸
第三節	一條教房の幡多荘下向と在地勢力	東近 伸
第四節	南海の津・清水の発展	東近 伸
第五節	中世土佐清水の石造物と仏教文化	東近 伸
第六節	長宗我部元親の土佐統一と渡川合戦	東近 伸
第七節	朝鮮出兵と以南の国人領主たち	東近 伸
第八節	カツオ漁の伝統―元親に献上されたカツオ節―	東近 伸
第九節	土佐清水市の中世城郭	松田 直則
第十節	土佐清水市の中世考古学研究	松田 直則
<b>第四章 近代</b>		
第一節	藩政前期の土佐清水市域	田村 公利(全章)
第二節	鼻前七浦の漁業と浦々の動向	
第三節	鼻前廻船商人たちの動向	
第四節	窪津浦での捕鯨	
第五節	土佐清水市周辺での生活文化・六節 あしずりへんろ道	
第七節	幕末の海防	
第八節	近世以南一帯の産業と天明の飢饉	
<b>第五章 近現代</b>		
第一節	戊辰戦争	田村 公利
第二節	明治維新の諸改革	田村 公利
第三節	近代・地域産業基盤の確立	田村 公利
第四節	漁業を軸とする清水港の整備と市街地形成	田村 公利
第五節	サンゴ漁とその沿革	田村 公利
第六節	土佐清水市民の海外移住	田村 公利
一	黒潮がつかないだ台湾への移住(大正末期～昭和初期)	吉尾 寛
二	斧積からブラジルへ(明治末～昭和)	田村 公利
三	サントス強制退去事件	田村 公利
四	英国領ボルネオへの工場進出	田村 公利
第七節	戦後の土佐清水地域の漁業	田村 公利
第八節	市制発足後の土佐清水	田村 公利
一	市制発足前夜	田村 公利
二	四町合併・土佐清水市の誕生	田村 公利
三	都市計画事業と国・県道整備	吉本 工心
四	足摺宇和海国立公園指定と観光ブーム	田村 公利
五	あしずり港建設とフェリーの就航	吉本 工心
六	土佐清水市の姉妹都市相互交流の歴史	田村 公利
七	少子高齢化のなかで	吉本 工心

## 第六章 以南偉人伝

田村 公利(全章)

第一節	少年万次郎を育んだ中浜浦	.....
第二節	『漂異紀畧(大津本)巻之一』から見た万次郎の遭難	.....
第三節	万次郎年表	.....
第四節	近世・今村楽に師事した教養人三選	.....
第五節	池道之助清澄	.....
第六節	近世カツオ漁に生きた三人	.....
第七節	上田庄三郎	.....
第八節	沖八潮と良臣・親子	.....
第九節	小林為太郎	.....
第十節	溝渕政次郎	.....
第十一節	池 光子	.....
第十二節	仮谷忠男	.....
第十三節	細木大三郎	.....
第七節	戦争遺跡とは	.....
第二節	足摺望楼跡	.....
第三節	第一三三震洋隊・越基地跡	.....
第四節	足摺レーダー基地跡	.....
第五節	防空監視哨跡	.....

大原 純一/出原 恵三(全章)

## 第八章 同和教育史

浜岡 篤(全章)

序説	.....	
第一節	部落の起こりとその背景	.....
一	部落の起こり(起源)	.....
二	中世における被差別民衆の暮らし	.....
三	近世における被差別民衆の暮らし	.....
四	身分制度の確立	.....
第二節	本市における被差別民衆の所在	.....
同和教育資料集		
(一)実践例		

教材一 みんなでかついだみこし

教材二 三崎川(小学生用)

教材三 三崎川(中学生用)

教材四 神祭にみこしが入った

教材五 にぎりまい

教材六 教科書無償運動 思いは「ふるさと」から(土佐清水市における教科書無償運動)

教材七 字をおぼえて夕やけが美しい(識字学級生 北代色さんの生涯)

## 第九章 学校教育史

谷岡 暁美(全章)

第一節	明治期の教育	.....
第二節	大正期の教育	.....
第三節	昭和の教育	.....
第四節	平成の教育	.....
第五節	学校統合	.....
第六節	給食	.....
第七節	防災教育	.....
第八節	放課後子ども教室・学校支援地域本部事業	.....
第九節	令和の教育の状況	.....
第十節	小中学校の沿革	.....
第十一節	資料	.....
第十章	市政史	.....
第一節	市制発足までの変遷	.....
第二節	市政史のトピックス	.....
第三節	市政史概略年表	.....
第四節	資料編	.....

武藤 清(全章)

## 第十一章 防災史

第一節	「南海トラフ地震史」と「大正九年豪雨災害」	田村 公利
第二節	土佐清水市域に点在する「大正九年水害碑」	田村 公利/濱田 眞尚
第三節	土佐清水市域に点在する自然災害碑	田村 公利/濱田 眞尚
第四節	大正十一年松尾ペストの流行	吉本 工心
第五節	昭和三十年代に市内で流行した赤痢	吉本 工心

第六節 昭和南海地震の記憶・・・・・・・・・・土井 恵治・・・

第七節 西南豪雨災害・・・・・・・・・・岩井 拓史・・・

第八節 まとめ・・・・・・・・・・岩井 拓史・・・

第十二章 民俗伝承

第一節 市内に伝わる伝統芸能・・・・・・・・・・岩井 拓史(全章)

第十三章 地勢・地形地質

第一節 土佐清水市の地勢・・・・・・・・・・田村 公利・・・

第二節 地域の地質・地形的な特徴・・・・・・・・・・土井 恵治／今井 悟・・・

第十四章 植物

第一節 土佐清水市の植生・・・・・・・・・・森口 夏季(全章)

第二節 大岐の浜林(東部)・・・・・・・・・・

第三節 足摺岬(南部)・・・・・・・・・・

第四節 清水(市街地)・・・・・・・・・・

第五節 西部(三崎―叶崎)・・・・・・・・・・

第六節 今ノ山・・・・・・・・・・

第七節 人の暮らしと植物の関わり・・・・・・・・・・

第十五章 動物

第一節 トサシミズサンショウウオ・・・・・・・・・・吉川 貴臣・・・

第二節 動物・・・・・・・・・・吉川 貴臣・・・

第三節 海洋生物・・・・・・・・・・新野 大・・・

資料編

第一章 中世〜近代文書

第一節 「大乘院寺社雑事記」・・・・・・・・・・東近 伸・・・

第二節 その他の文書・・・・・・・・・・東近 伸・・・

第三節 市域の『長宗我部地檢帳』集約・・・・・・・・・・山下 晃弘・・・

第四節 近世文書・・・・・・・・・・田村 公利・・・

第五節 近代文書・・・・・・・・・・田村 公利・・・

第二章 中世から近世石造物

第一節 和泉砂岩製石造物(特徴及び分布)・・・・・・・・・・木谷 智史・・・

第二節 市内における石造物調査

一 調査の概要・・・・・・・・・・海邊 博史・・・

二 センケ墓地(調査の概要、一石五輪、石仏)・・・・・・・・・・海邊 博史／森山由香里・・・

三 念西寺(調査の概要、一石五輪、石仏)・・・・・・・・・・海邊 博史／森山由香里／三好義三・・・

四 市内の近世墓地(近世墓標の概要、主要商家の墓標の様相)三好義三／森山由香里・・・

五 あしずり遍路道関係石造物・・・・・・・・・・濱田 眞尚・・・

六 石造物の岩石学的調査・・・・・・・・・・黒川 信義／先山 徹／谷川 亘・・・

第三節 考察・・・・・・・・・・海邊 博史／森山由香里／佐藤亜聖／黒川信義／先山 徹／谷川 亘・・・

第三章 学校資料から見る地域の教育・社会・災害・戦争

第一節 土佐清水と学校資料・・・・・・・・・・楠瀬 慶太・・・

第二節 土佐清水の学校資料の概要・・・・・・・・・・高木 翔太・・・

第三節 大津小資料から見た明治〜昭和期の教育と学校・・・・・・・・・・目良 裕昭・・・

第四節 地域社会と学校資料・・・・・・・・・・楠瀬 翔太・・・

第五節 学校日誌に見る災害・・・・・・・・・・水松 啓太・・・

第六節 学校日誌に見る戦争の影響・・・・・・・・・・高木 翔太・・・

第四章 市域中世山城上空写真

第五章 郷土料理

第一節 カツオのたたき・・・・・・・・・・吉本 工心・・・

第二節 魚の干物・・・・・・・・・・新野 大・・・

第三節 貝ノ川うどん

第四節 土佐清水市の寿司

一 ツワ寿司・・・・・・・・・・田村 公利・・・

二 下ノ段のおしぬき・・・・・・・・・・田村 公利・・・

三 姿寿司・・・・・・・・・・新野 大・・・

あとがき

土佐清水市史編集委員

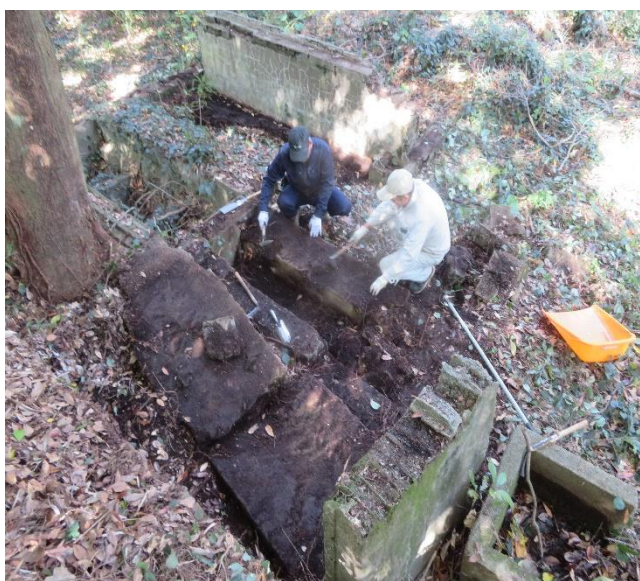
田村公利・・・・・・・・・・



## ◎戦争遺跡保存ネットワーク四国主催

### 「第10回戦争遺跡シンポジウム及び見学会」の開催

- ・6/3(土) 土佐清水市中央公民館 3階・多目的ホール  
13:30～ ※参加の場合は、資料代 1,000 円必要。
- ・6/4(日) 8:30～ フィールドワーク (松尾監視哨・足摺探信所ほか)
- ・土佐清水市教育委員会、土佐清水市郷土史同好会後援



終戦から 78 年、戦争体験者の高齢化によりその記憶が次第に薄れています。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、戦争が決して過去のものではない現実を私たちに突きつけています。残された戦争遺跡を守り、未来へ継承していくことの必要性を痛感します。

シンポジウム事務局の出原恵三さんには、市史編集委員に委嘱しており、市域の戦争遺跡について詳しく調査をいただき、「第 7 章・戦争遺跡」を執筆していただきました。市域には、第 132 震洋隊の震洋艇格納壕など多くの戦争遺跡が残存しています。参加のみなさんに市内に残る戦争遺跡を見ていただき、平和に向けての確かな一歩となりまじょうに祈念しています。